

2016年5月

私がフランスに来てから約 1/3 が過ぎました。今回は日々の生活を中心に書きたいと思います。私はフランス国立農学研究所(INRA)にて研究活動しています。INRA や大学中では英語が通じますが、スーパーや雑貨店など一歩街に出ると英語が通じないことも多いです。当プログラムに関する講義はまだ始まっていませんが、留学生向けに開講している週 2 回のフランス語の授業を受講しています。INRA には夜 20 時以降と土日祝日は入ることができないため、旅行や友人と会う、フランス語を勉強するなどして過ごしています。ボルドーは旅行の拠点としては良い位置です。また、ボルドーは程よく都会で何でもありますが、比較的治安が良い場所です。

INRA にはボルドー大学の学生寮から自転車で 15 分程かけて通っています。1~3 月は雨が非常に多い時期だったので雨天はバスを乗り継いで通いました。その場合は 40 分程かかります。住居ですが、CROUS (フランス国内で学生寮や学食を運営する団体) の寮に住んでいます。多くの入居者がキッチンで 4-5 人程度で共有する部屋でしたが、運良くキッチン付のスタジオタイプと呼ばれる個室を使うことができました。面積は 9 m²とあまり広くはないですが、1 年間だけ暮らすことを考えると十分です。家賃は 243 €/月ですが、アロカシオンという家賃補助制度から 93 €頂いており、実際は 150 €だけ支払っています。この補助制度はフランスに半年以上在住しかつ経済的に援助が必要な人を対象にしています。学生の場合は頂けることがほとんどなので是非申請することをおすすめします。

食事は昼食以外、基本的に自炊です。フランスでは人件費も物価も高いため、レストランや既製品は高いです。一方で農業が盛んなことや軽減税率の対象であることもあり、農産物は日本よりも比較的安く買えます。昼食は INRA の食堂を利用しています。登録証にお金をチャージして利用しますが、初めての利用時はトラブルが多いそうなので注意が必要です。前菜・主食・デザートを自分で取るbuffet形式で、フランスの家庭料理を 2-3 € の格安で食べることができます。また、ここボルドーではフランスでの日本食ブームの影響もあり日本食レストランや日本の食材を扱う店もいくつもあり、日本食が恋しい時はそこに行くといいです。値段はおおよそ日本の 1.5-2 倍です。



INRA の食堂にて。値段は 2,17 €。

フランスではクレジットカードが広く普及しておりほとんどの店で利用可能です。家賃もオンラインで支払えます。ただし、一定の下限以上の支払い制限を設けているところもあります。私の場合、日本の口座からクレジットカードで支払っており、現金が必要な場合は日本の銀行の口座から、こちら提携銀行の ATM から引き落としとしています。日本のカード会社なら為替レートもそれほど高くないので、現金を両替して持ち込むよりは安く済みます。もちろん、生活を始める時に万が一に備えてある程度は必要です。

以上今回はフランスの生活面を中心に書きました。留学に興味を持っている人に具体的な体験が伝われば幸いです。